

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス びたみんB			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 20日 ～ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日 ～ 2025年 11月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが十分に確保されている	事業所内のみでなく、教育センターや公園など広い場所でのびのびと活動できている。	今後も様々な公共施設を利用しながら、社会性を育てるとともに地域交流を図っていきたい。
2	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	びたみんB通信を月二回発行。 子どもも確認できるよう行事予定カレンダーを工作している。 おやつ購入の際は、詳細を前日にLINEで連絡している。	子育てに役立つ情報提供を行いたい。
3	日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている	送迎時に活動内容と様子を保護者に説明している。 必要に応じて不穏時など詳細をLINEで伝える。 怪我や身体の状態の変化を見つけた際は、写真とともに共有する。	緊急時のかかりつけの病院など連絡先を掲示しておく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	現在の事業所であると、住宅街のため、過去に騒音の苦情があったことから、事業所内外ではなるべく静かに過ごすよう気を付けている。 庭でのイベントや近隣住民への積極的な働きかけがしづらい。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図ることが難しい。	よく利用する教育センター土手や運動公園の地域清掃（ゴミ拾い、落ち葉掃き） ・下老袋の新しい事業所に引っ越し後… 敷地内において、地域住民も集える夏祭りを行いたい。 近くのこども園とハロウィンイベントなど同心協力したい。
2	保護者との連携	現在の事業所だと、駐車スペースがほとんどなく支援を見てもらいづらい。	保護者参加型のイベント（運動会、おやつ作りなど）を増やしていきたい。 引っ越し後は、保護者会を行う予定。
3	支援の記録を徹底し、支援の検証・改善につなげる	支援の記録はデイロポでの連絡帳に記載している。 しかし、基本的に記入者は決まっていることやデジタル画面の情報のため、全員の目に触れづらい。傾向の把握が難しいため検証が見過ごされやすい。	デイロポ導入以前の個別日誌を再開する。 パニックの有無・支援目標の達成可否やその理由など詳しく記入できる。紙媒体の方が視認性・一覧性の利点がある。 その日の担当支援員が記入するため、支援の振り返りができ ることで、質の向上に繋がる。